



さあ、答え合わせをしよう!

## 第66週目 行ってみよう～福井県(ふくいけん)からの出題

※ココを見てね! ▶ 行ってみよう～福井県(ふくいけん)

1. 大昔の福井県(ふくいけん)は、2つの国でした。それは、越前国(えちぜんのかくに)と、どこですか?

正解:①若狭国(わかさのかくに)

県の特徴(とくちょう)を読めば、すぐにわかったね。正解は、①若狭国(わかさのかくに)。加賀国(かがのかくに)は、現在の石川県(いしかわけん)、越後国(えちごのかくに)は富山県(とやまけん)にあたります。明治時代(めいじじだい)以降(いこう)、日本は国を47の都道府県(とどうふけん)に区分けしましたが、旧国名(きゅうこくめい)の名残(なごり)もあるので、しらべてみるとおもしろいよ。ちなみに、WEBサイトでは「用語じてん」にのってるよ。

2. 鳥浜貝塚(とりはまかいづか)でみつかったお宝は、国の重要文化財に指定されています。次のうち、何かな?

正解:②漆(うるし)ぬりの櫛(くし)

「お宝ベスト5」1つ目に、写真付きで紹介(しょうかい)されている櫛(くし)は、つややかで、いかにも貴重(きちょう)なものだとひと目でわかりますね。これはヤブツバキの樹液(じゅえき)からとった漆(うるし)でできています。正解は、②漆(うるし)ぬりの櫛(くし)。今では日本の伝統工芸(でんとうこうげい)の一つとして伝えられている漆(うるし)ぬりの技術(ぎじゅつ)ですが、はるか昔、縄文時代(じょうもんじだい)からすでにあっただね。

3. 坂井市春江町から出土(しゅつど)した銅鐸(どうたく)には、どんな絵が描(えが)かれていましたか?

正解:②舟(ふね)

弥生時代(やよいじだい)に、朝鮮半島(ちょうせんはんとう)から伝わった青銅器(せいどうき)のなかで、「銅鐸(どうたく)」は武器(ぶき)ではなく、まつりの儀式(ぎしき)などで用(もち)いられました。だから、そのうち大きさやデザインなど、ほかとは違(ちが)う個性(こせい)があらわれるようになりました。「お宝ベスト5」の4つ目に写真付きで紹介(しょうかい)されています。正解は、②舟(ふね)。ほかにはない、珍(めずら)しい線刻(せんこく)です。

4. 福井県のお宝、県指定文化財の「舟形石棺(ふながたせっかん)」は、どこで展示(てんじ)している?

正解:③福井市立郷土歴史博物館

福井市(ふくいし)の郊外(こうがい)にある足羽山(あすわやま)では、多数の古墳(こふん)がみつかっています。その一つ、山頂古墳(さんちょうこふん)は、明治(めいじ)16年に、継体天皇(けいたいてんのう)の石像(せきぞう)を建(た)てる工事で発見(はっけん)された5世紀中ごろ(5せいきなかごろ)の円墳(えんぷん)で、中の石棺(せっかん)には、直狐文(ちよっこもん)の線刻(せんこく)がありました。現在、古墳(こふん)はその姿(すがた)をとどめていませんが、石棺(せっかん)は、正解③福井市立郷土歴史博物館で展示(てんじ)されています。「お宝ベスト5」5つ目を読めばわかりましたね。福井駅(ふくいえき)からも近いのでぜひ見に行(い)ってね!

5. 西谷遺跡(にしたにいせき)は、ある時代のムラです。さて、いったい何時代?

正解:③古墳時代(こふんじだい)

福井県(ふくいけん)のマップから、「西谷遺跡(にしたにいせき)」をクリックしてください。正解は、③古墳時代(こふんじだい)。このムラからは、たて穴建物8軒(けん)、倉庫(そうこ)1棟(とう)などがみつかったんだよ。